

令和6年度

事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

学校法人明德学園

目 次

I 法人の概要について

1. 建学の理念・教育目標について	2
2. 法人の沿革について	2
3. 設置する学校・学部・学科等について	3
4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について	3
5. 教職員について	3
6. 理事・監事・評議員について	4
7. 学園の組織図	5

II 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）	6
2. 京都経済短期大学	14
3. 京都明德高等学校	25
4. 京都成章高等学校	35

III 財務の概要について

1. 主な計算書類	41
2. 当該年度の決算の概要について	46
3. 主な施設設備の整備状況について	46
4. 財産目録	47
5. 主な財務比率について	48

I 法人の概要について

1. 建学の理念・教育目標について

この法人は、日蓮聖人生誕700年記念事業として本圀寺（ほんこくじ）により設立されたもので、日蓮聖人の教えを遵奉し、教育基本法及び学校教育法に従い、宗教的情操の涵養に努め、明知を以て明德を実践する国民の資質を向上せしむる教育をおこなうことを建学の精神としている。

2. 法人の沿革について

明德学園は大正10年に設置された明德女学校から出発した。学園歴は、100年を超え、学園傘下には京都明德高等学校、昭和61年開校の京都成章高等学校、及び平成5年4月に高度情報化社会の要請に応じて開学した京都経済短期大学の三校を擁して今日に至っている。

私学を取巻く社会的環境は非常に厳しいものがあるが、今一度学園の建学の精神および教育理念の意義を確認し、「明德学園は働く人づくり日本一の教育機関」をめざすことが社会的使命（責任）であるとし、経営ビジョンの柱として「生き生き働く魅力ある教職員づくり」、教学ビジョンの柱として「将来の生き方につながる職業観の育成」を掲げ、この両輪とともにそのミッションの実現に向かって鋭意努力しているところである。

この間、学園三校の卒業生総数は5万人を超え、全国各地のあらゆる分野において活躍している。母体であった明德商業高等学校は平成9年4月に「京都明德高等学校」と校名を変更して普通科を併設し、平成12年4月に男女共学とした。

さらに、男子校として開校した京都成章高等学校も平成15年4月に男女共学とし、教育の多様化に取り組み、平成26年4月には全日制課程に加えて、現役での大学進学を目指す通信制課程を併設した。

そして、令和4年に創立30周年を迎えた京都経済短期大学は、開学以来高い就職率を維持するとともに、課外講座をはじめとする四年制大学への編入対策のサポートを強化し実績をあげるなど、地域に根ざしながらもグローバル社会の中で時代に即応した人材の育成に努めている。

学園傘下の大学・高等学校とも、それぞれの教育目標に沿って順調に教育活動を営んでいる。

年号・年・月	法人の沿革（概要）
明治44年8月	社団法人明德学園創立
大正10年4月	明德女学校創立
大正13年4月	明德高等女学校設立認可
昭和23年4月	明德女子高等学校設置
昭和26年3月	学校法人明德学園へ組織変更
昭和27年4月	明德女子商業高等学校と改称
昭和29年4月	明德商業高等学校と改称
昭和61年4月	京都成章高等学校設置
平成 4年4月	明德商業高等学校全面移転

平成 5 年 4 月	京都経済短期大学経営情報学科設置
平成 9 年 4 月	明德商業高等学校に普通科を併設し、京都明德高等学校と改称（収容定員 1,800 名→1,440 名）
平成 12 年 4 月	京都明德高等学校の男女共学化
平成 14 年 4 月	京都成章高等学校の学則変更（収容定員 810 名→1,200 名）
平成 15 年 4 月	京都成章高等学校の男女共学化
平成 26 年 4 月	京都成章高等学校に通信制課程普通科を併設
平成 30 年 4 月	京都経済短期大学の学則変更（収容定員 300 名→400 名）

3. 設置する学校・学部・学科等について

- (1) 京都経済短期大学 経営情報学科
- (2) 京都明德高等学校 全日制課程（普通科）（商業科）
- (3) 京都成章高等学校 全日制課程（普通科） 通信制課程（普通科）

4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について

令和 6 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	学科等	入学 定員	収容 定員	入学 者数	在籍 者数
京都経済短期大学	経営情報学科	200	400	206	469
京都明德高等学校	全日制	480	1,440	328	958
	（商業科）	(240)	(720)	(186)	(483)
	（普通科）	(240)	(720)	(142)	(475)
京都成章高等学校	全日制	400	1,200	366	1,262
	通信制	—	300	1	48

5. 教職員について

令和 6 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	教職員数	内 訳			
		教員		職員	
		本務	兼務	本務	兼務
学園本部 ※部門割人数（ ）を含まず	3 (11)	—	—	3 (11)	0
京都経済短期大学 ※部門割人数（ ）を含む	68 (2)	15	32	19 (2)	2
京都明德高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	88 (4)	55	21	9 (4)	3
京都成章高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	99 (5)	74	11	13 (5)	1
合 計	258	144	64	44	6

6. 理事・監事・評議員について

令和7年3月31日現在

◇理事（定数13名・現数13名）

理 事 長	川 口 博	
副 理 事 長	中 村 鈴 子	小 島 理 沙
常 務 理 事	浜 岸 和 洋	
理 事	高 橋 弘	二 宮 庸 介
	湯 浅 泰 正	相 根 英 樹
	上 田 健太郎	平 木 真 人
	小 林 哲 也	中 井 正 雄
	加 藤 康	

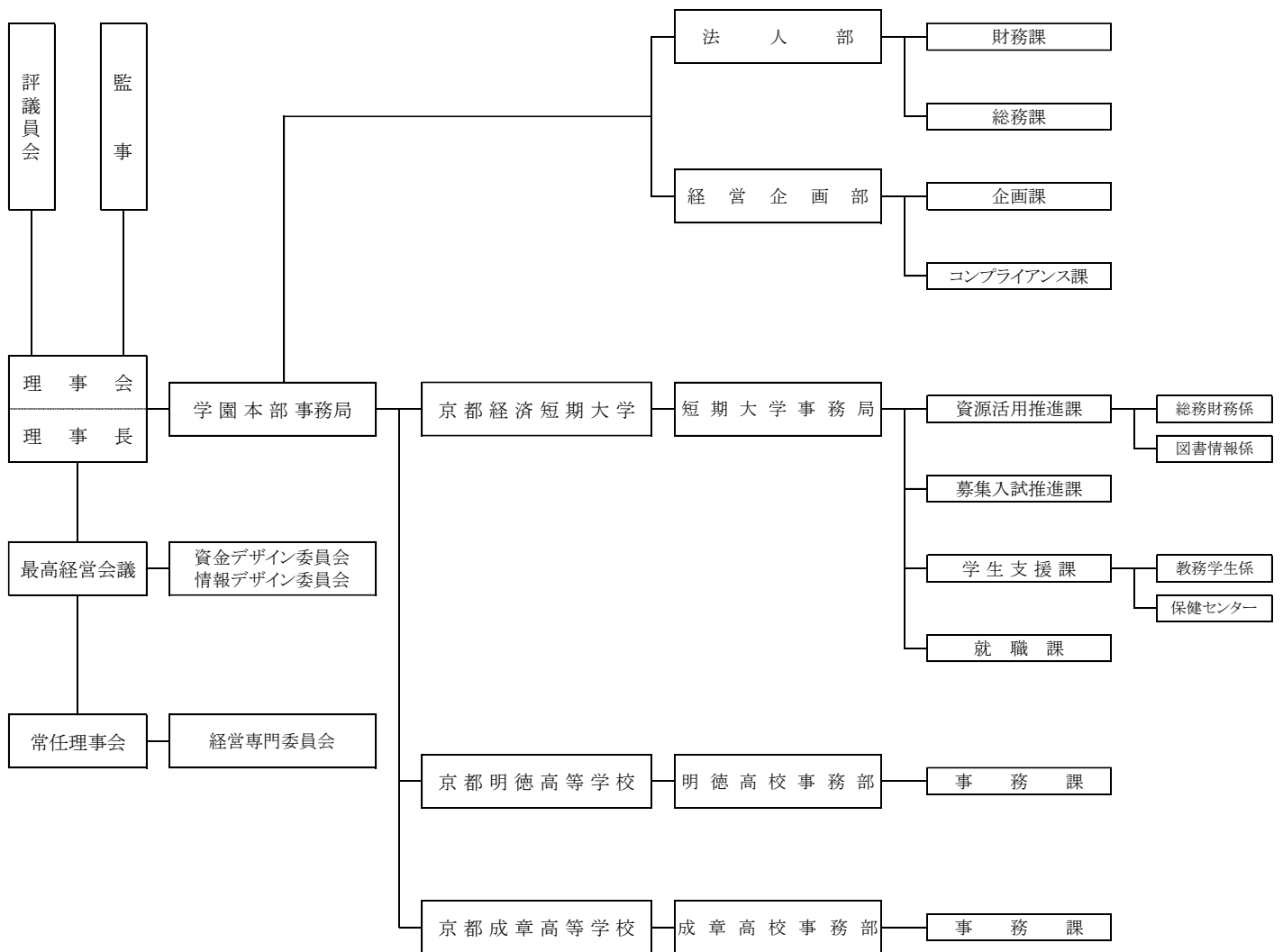
◇監 事（定数3名・現数3名）

常 勤 監 事	上 野 克 也	
監 事	川 勝 康 行	植 田 観 樹

◇評議員（定数29名・現数28名）

川 口 博	中 村 鈴 子	浜 岸 和 洋
高 橋 弘	二 宮 庸 介	湯 浅 泰 正
相 根 英 樹	上 田 健太郎	平 木 真 人
小 林 哲 也	中 井 正 雄	藤 田 隆 史
東 口 智 子	田 中 辰 幸	村 山 宥 斗
阿 部 晃 彰	竹 永 知 子	佐 藤 健 司
河 本 理 栄	渡 邊 正 弘	澤 井 芳 信
三 村 貴代美	川 口 智 康	大 西 秀 樹
今 枝 徳 蔵	早 川 日 章	近 藤 永太郎
風 間 随 修		

7. 学園の組織図



Ⅱ 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）

（1）当該年度の事業の概要について

めざすもの： 「働く人づくり日本一の教育機関」
ミッション： 「傍（はた）を楽（らく）にする人づくり」
経営ビジョン： 「生き生き働く魅力ある教職員づくり」
教学ビジョン： 「将来の生き方につながる職業観の育成」

今年度、本学園では、これまで同様、長期計画としての「明德学園、これからの10年（20）」を策定し、学園のミッション・ビジョンを全教職員に明示し、教学面・経営面ともに改革を実践しながら経営を進めてきた。

①明德学園事業計画（概要）

◇明德学園の経営

- ・「人を活かす」教育機関としての人的資本経営の構築
- ・「ひとイノベーション」発生装置をデザインする
- ・スクールガバナンスを構築
- ・教学と経営の融合を図る「経営専門委員会」の設置

《令和6年度 経営専門委員会》

将来構想策定委員会

- ・学園本部による各種支援体制の整備

◇明德学園の「人づくり」

- ・利他の心を活かす
- ・インテグリティ（統合性）とダイバーシティ（多様性）の実現のために
- ・競争から共創へ
- ・教職員の成長が学校法人や学校の価値向上に結びつくことをめざす
- ・教育を取り巻く環境変化への対応と職務貢献に応じた賃金制度

◇「教育づくり」の支援

- ・教育力向上の取り組みを推進
- ・四部門横断的「学園として」の教職員研修会の充実を図る
- ・「面白いを創る」、感動体験を生み出す文化・スポーツ活動の推進
- ・あらゆる場を通じて「宗教する心」の涵養に努める

◇情報をデザインする

- ・見えない資産をわかりやすく伝える
- ・学生・生徒確保につながる企画広報活動
- ・学校法人のディスクロージャー制度の実施
- ・アカウンタビリティ（ステークホルダーへの説明責任）

《情報デザイン委員会の基本姿勢》

新聞広告・広報物の制作と共にHPの新鮮さを重視する

◇資金をデザインする

- ・ お金に命を吹き込む
- ・ 効率的財政支出とプライマリーバランス
- ・ 奨学金や教育振興金の充実
- ・ スクールファイナンスの構築

《資金デザイン委員会の基本姿勢》

デザイン思考・ファイナンス思考を活かした安定感ある資金運用

◇監査機能の充実とコンプライアンス

- ・ 教職員としての職務能力を高めるとともに、公金管理の徹底を図る
業務監査の令和6年度重点事項 監事監査計画による。
会計監査の令和6年度重点事項 監事監査計画による。
- ・ 危機管理とコンプライアンス体制の確立のために
- ・ 仕事のあらゆる場面を通じて人権感覚を高めるための工夫を図る

◇ファシリティマネジメントの構築

- ・ 戦略的施設の取得と管理
- ・ 現有施設・設備の有効活用とその姿勢

《令和6年度 重点整備》

100年法人にふさわしい施設設備の取得をおこなう。

◇明德学園のこれからをデザインする

- ・ 将来構想と連動した働く人改革。女性管理職の積極的登用、異業種有能人材の雇用・活用、専任年齢制限の撤廃、若年者のリーダー抜擢等を視野に入れ働く人の多様化を推進。

②主な事業内容

私学経営には戦略が不可欠である。学園本部には、事務局としての役割だけに留まらずに、経営戦略機能を有する「経営事務局」としての役割を強化していくことが求められている。その目的を達成するために、本部内に法人部と独立性の高い経営企画部を配置しており、本年度は以下のような事業を展開した。

◇理事会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議し意思決定を行った。

〈主な議案〉

- ・ 明德学園グランドデザイン長期計画「明德学園、これからの10年（20）」
- ・ 令和6年度明德学園監事監査計画
- ・ 令和6年度明德学園人事委員会委員の選任
- ・ 令和6年度個人情報保護委員会委員の選任
- ・ 令和6年度及び令和7年度ハラスメント防止委員会委員の選任
- ・ 令和5年度事業報告
- ・ 令和5年度収支決算

- ・令和6年度補正予算
- ・令和7年度予算編成方針
- ・令和7年度明德学園管理職人事
- ・令和7年度事業計画
- ・令和6年度最終補正予算
- ・令和7年度当初予算
- ・明德学園創立記念奨学生、島正博奨学生、川口博奨学生、京都経済短期大学教育後援会創立記念奨学生、京都経済短期大学経営・情報学会奨学生の決定
- ・明德学園教育振興金及びみらい授業研究費の申請
- ・松本学昭教育奨励金の決定
- ・基本金の組み入れ
- ・学則変更
- ・諸規程、規則等の整備
- ・明德学園寄付行為の変更
- ・教職員の採用
- ・100周年記念施設物件の検討
- ・京都経済短期大学学長候補者選考委員の選出

◇評議員会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点、第三者からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議した。

〈主な議案〉

- ・令和5年度事業報告
- ・令和5年度収支決算
- ・令和6年度補正予算
- ・令和6年度最終補正予算
- ・令和7年度事業計画
- ・令和7年度当初予算
- ・明德学園寄付行為の変更

◇教学と経営の融合

業務執行機関のスタッフ組織として、理事・教員・職員により構成されている経営専門委員会について、令和6年度は「将来構想策定委員会」が設置された。その答申の概要は以下の通りである。

- ・はじめに
- ・10年後も通用する、明德学園、並びに、明德、成章、経短がどうあるべきか
- ・第4の学校の設立

背景：少子高齢化、人口減少、社会情勢の混沌化、学校経営の持続可能性

第4の学校のコンセプト：既存の3部門で実現できないことを可能にする学校

提案された学校：①京都経済大学院大学（MBA）

②専門職大学

③シニア大学

④スポーツで地域活性化を創出する学校

・おわりに

◇研修会の実施

ア) 学園研修・懇親会

本学園は、学園のミッション・ビジョンの実現を目指し、学園創立記念日に、全部門の教職員が一堂に会した横断的な研修会として、明德学園発祥の地（柿本町）にある京都東急ホテルにて毎年、「明德学園研修・懇親会」を開催している。今年度で19回目の開催であったが、経営専門委員会中間報告や部門報告など、以下のようなプログラムで実施した。

日 時：令和6年10月23日(水)

場 所：京都東急ホテル「葵の間」

テーマ：「明德学園、みらいのデザイン」

次 第：

第1部 研修会		司会：芦田菜摘・栗山拓・小路真木子
13：00～	開会挨拶	理事長 川口博
13：05～	経営専門委員会 中間報告「将来構想策定委員会」	委員長 二宮庸介
13：35～	休憩（コーヒー）	
13：50～	部門報告①「未来のデザインの教育ーデザインの視点に立つには」	京都経済短期大学 植田憲司
14：10～	部門報告②「DX ハイスクール事業でつくる京都明德高校のミライ」	京都明德高等学校 田上智之
14：30～	部門報告③「京都成章高校 変化と未来」	京都成章高等学校 渡邊勇気
14：50～	部門報告④「内部監事監査のこれからについて」	学園 常勤監事 上野克也
15：10～	休憩	
第2部 表彰式		司会：平木真人
15：20～	永年勤続表彰（30年・10年）／松本学昭教育奨励金表彰	
15：50～	休憩（会場設営・記念撮影・休憩室「祇園」）	
第3部 懇親会		司会：西村裕也・徳舛美奈子
16：30～	懇親会 料理紹介	京都東急ホテル総料理長 田面山博憲 氏
16：35～	乾杯	評議員 今枝徳蔵 氏
17：55～	閉会挨拶	常務理事 浜岸和洋

イ) 職員研修会

本学園では、職員としての資質の向上を目指し、知識を得るだけでなく、教養を深めるために一流に触れる機会や、職員相互の信頼関係を構築するため、交流する機会を設けてきた。

今年度は「学びも遊びも一緒に。いきものを通じて新しい体験を共有する。」をテーマに、学び「エデュケーション」と遊び「エンターテインメント」を融合した「エデュテインメント」をコンセプトに掲げる水族館「神戸須磨シーワールド」で「生命の力強さ」を共有し、職員間の繋がりを深めることができた。

◇情報をデザインする

- ・学園広報誌「学園四季」の発刊

学園ミッション・ビジョンを体現している教育・研究実践など、学園の见えない資産を広報している。連載企画として経済短大のゼミ活動を紹介する「ハタ・ラク研究室」や、両高校のクラブ活動を紹介する「クラブ探訪記」のほか、特集記事として、学園独自の給付型奨学金、学園の財務状況、学園研修懇親会、卒業生インタビューなどを掲載した。

- ・創立記念新聞広告の掲出

創立記念日の10月23日に、京都新聞と朝日新聞（京滋版）の朝刊に、全15段カラーの新聞広告を掲載した。各校を代表する教員3名と「これからをデザインする」というコピーで、異質な組み合わせが新しい何かを生み出す「ひとイノベーションの明德学園」の世界観を表現した。

- ・学園 Web サイトの更新

事業報告や学園独自の奨学金情報等を随時更新した。

- ・学内広報誌「学内ニュース」の発行

学内教職員を対象に、タイムリーな告知、情報共有等を目的に発行した。

◇情報の公開

アカウンタビリティ（ステークホルダーへの説明責任）を目的とし、信頼される重要な情報として財務情報・事業報告を積極的に公開した。今後も個人情報をはじめとした保護すべき情報には十分配慮しつつも、必要な情報公開に努める。

◇情報管理と活用

各学校で情報発信ツールとして活用している Web サイトについて、本部情報担当者が内容の充実と運用の利便性向上を支援した。

また、京都経済短期大学のシステム運用委員会に参加し、システム環境全般の整備に寄与したほか、ネットワークの利用状況を定期監視し、通信の停止や過大通信、その他セキュリティに関わる異常通信の兆候があればその対応支援を行った。

◇資金をデザインする

- ・スクールファイナンスの構築

「お金に命を吹き込む」ことをめざし、補助金等の外部資金の獲得や戦略的財務資金運用により、収入増加を図り、経営基盤の強化に努めた。

- ・効率的財政支出に向けての取り組み

予算編成においてプライマリーバランスや財務比率によるマネジメントを重視し、各部門間での共同購入や共同利用等の工夫を心掛け、効率的な財政支出に努めた。

- ・学園創立記念奨学金の充実

今年度も京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校の学生・生徒に対して、返済義務のない給付型奨学金の給付を実施した。今年から質的向上を図るため一人当たりの給付額を増額し、成績優秀者99名に12万円、更に成績優秀かつ経済的援助を要する学生生徒3名に7万円を給付した。

- ・明德学園教育振興金の充実をはかる

学生・生徒に感動体験を生み出す文化・スポーツ活動を推し進める取り組みとして、京都明德高校のダンス部、京都成章高校のバドミントン部、卓球部、女子ラグビー部に、そして、教育振興を図るための教職員研修の取り組みとして、職員研修委員会に支給し、活動の支援を行った。

- ・松本学昭教育奨励金の支給

この奨励金は、松本学昭名誉理事長からの寄付を原資とする運用果実を利用し、明德学園の教育づくりに寄与する取り組みを行う個人またはグループを支援するために平成28年度に設けられた。今年度は、全部門から教員3名、職員1名に対し奨励金を支給し、その功績をたたえた。

- ・みらい授業研究費制度の運用

明德学園のミッション・ビジョンの実現に向けて、本学園の教職員が、学生生徒の未来に役立つ授業を開発・実践することで、ひいては本学園の教育力の向上に寄与すると認められるものに対する助成を行っている。今年度は1件の研究事業に対し研究費を支給した。

- ・島正博奨学金制度

令和元年度、本学園初代名誉理事長である島正博氏（株式会社島精機製作所会長）の過去の功労に感謝すべく新たな奨学金制度を創設した。今年度は基準を満たす学生・生徒計12名に対し、一人当たり年間20万円を支給した。

- ・川口博奨学金制度

川口博理事長からの100周年記念寄付金を原資として新たな奨学金制度を創設、今年度より基準を満たす学生生徒計6名に対し、一人当たり年間20万円を支給した。

- ・京都経済短期大学 経営・情報学会奨学金

京都経済短期大学 経営・情報学会からの創立100周年寄付をもとに令和3（2021）年度創設、成績優秀かつ経済的に学費援助を要する京都経済短期大学の学生4名に対し、一人当たり年間15万円を支給した。

- ・「お金に命を吹き込む」資金運用

資金運用のポートフォリオをデザインし、その充実にむけてフローからストックへ

更に重点をシフトさせてきた。「お金に命を吹き込む」ことの重要性の認識と工夫により億単位規模の安定収入をはかるべく、「資金デザイン委員会」では、金融商品案件の検討会議を行うほか、研修会にも参加し能力の向上に努め、学生生徒の経済的支援と教職員の生活の向上に寄与した。

◇法務・コンプライアンス体制の確立に向けた取組み

予防法務機能として、各部署からの法務に関する相談、諸契約に係る条項のチェック、規程等の改定提案、新規制定法令や改正法令の告知等を行った。また、紛争処理・対処機能として、法的問題が生じた際の解決支援や弁護士との連携及び官公庁への対応等を行った。

◇監査の実施

学校法人の価値向上を目的とし、学校としての視点から学園としての視点、各機関から独立した立場をもって、業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について適正かつ効率的な運営に資するために以下の事項について監査を行った。今後も引き続き本学園のミッション・ビジョンに沿った運営が円滑に遂行できるよう内部統制システムの整備を図るとともに、教職員の公金管理に関する意識の向上及びステークホルダーに対する説明責任を果たしていく。また、学園全部門における業務内容を横断的に把握することで学園財産の保全及び業務の活性化へと繋げていく。

〈令和6年度実施監査〉

内部 監事 監査	第1回	令和5年度京都明德高等学校・京都成章高等学校クラブ活動に係る収支状況及び活動状況・管理体制について 日程：R6.7.10、7.11、7.12、7.16、7.17、7.19、7.22、7.23、7.29、8.6
	第2回	令和5年度京都経済短期大学科学研究費補助金の管理状況について 日程：R6.10.2、10.3、10.15
	第3回	学園本部・京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校におけるコロナ禍後に係る管理運営状況について 日程：R6.11.12、11.13、11.18、11.19
	第4回	学園本部・京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校における諸規程の点検、順守具合及び各部門の取り組みについて 日程：R7.1.16、1.20、1.21、1.23
	第5回	令和5～令和6年度京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校各周辺団体に係る収支・管理状況について 日程：R7.2.17、2.18、2.21、2.25、3.4、3.5
監査 法人 監査	令和5年度 期末監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R6.4.11 R6.5.17、5.20、5.21

	令和6年度 期中監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R6.11.22、11.25 R7.2.26、2.27、2.28
--	---------------	--

◇ファシリティマネジメント

明徳学園では、「総合的な施設設備活用を進め、その取り組みを通じて学生・生徒や教職員がともに『施設を美しく使う』、『モノを大切にする』心を育み、また、良いモノを安く提供いただける企業との良好な関係を築くこと」をファシリティマネジメントの柱と位置づけ、推進している。

今年度の代表的なものとして、京都経済短大では大講堂及び大教室の吊り天井耐震化改修工事、京都明徳高校では体育館空調機器整備工事、京都成章高校では第2MS棟601・602教室改修工事、及びネットワークスイッチリプレース等が行われた。また、継続して100周年記念事業としての新たな不動産に関する情報収集や調査、検討等も行った。

（2）中期的な計画の進捗・達成状況

単年度事業の遂行において、常に中期財政計画と対比させつつ進めている。

（3）今後の課題について

各校がそれぞれの独自性を活かしながら、さらに積極的にミッション・ビジョンの実現に向けた取り組みを進めていこうとしているなか、やはり、経営的な喫緊の課題としては15歳、18歳人口減少下での学生生徒募集である。そして、よりよい学校づくり、教育づくりの担い手である教職員の人材確保と、その働く環境づくりが挙げられる。既成の概念にとらわれることなく様々な工夫を凝らし、学園としてこれらの課題解決に取り組んでいかなければならない。

2. 京都経済短期大学

(1) 当該年度の事業の概要について

- ・進路について、教職員が連携して全学的な支援に取り組み、就職、編入ともに高い実績を上げることができた。就職では本学独自のキャリア教育の開発に取り組み、学生がその進路実現に向けて、学習意欲を動機づけし、2年間を通じて自分自身と向き合うためのキャリア教育と支援を実施した。編入学では、編入関連科目での指導、各ゼミナール担当教員を含む教職員による個別指導を通しての学力把握、小論文指導、面接指導など編入希望学生へのサポートを実施した。
- ・留学生について日本人学生との交流や支援の拡充を行った。日本語の授業にて、学生17名がSAとして留学生のサポートを行い、社会活動単位認定制度を活用した留学生サポーターを設けた。また留学生を講師とした語学講座や留学生と日本人学生の交流促進のための茶話会を実施した。
- ・多様な学生に対応したカリキュラムや支援の検討、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）への申請に向けた準備を行った。

(2) 入学志願者数、受験者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

志願者数：342名

受験者数：337名

合格者数：325名

入学者数：246名

(3) 卒業者数、学位授与数等の状況について

234名（前期卒業10名含む）

(4) 学生の就職・進学状況について

1) 就職

株式会社エービーシー・マート【小売業/販売職】、株式会社 AndDo ホールディングス【不動産業/事務職】、株式会社 AndDo ホールディングス【不動産業/事務職】、株式会社 EnrichMRHoldings【人材サービス業/営業職(総合職)】、Evand 株式会社【人材サービス業/営業職(総合職)】、合同会社 Everyone【その他の事業サービス業/販売職】、株式会社 G7 オートサービス【小売業/販売職】、京都農業協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、京都中央農業協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、京都丹の国農業協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、東びわこ農業協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）【運輸業/機械運転職】、西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）【運輸業/機械運転職】、株式会社ジェイアール西日本伊勢丹【小売業/販売職】、株式会社ジェイアール西日本伊勢丹【小売業/販売職】、NIP エンジニアリング株式会社【製造業/営業職(総合職)】、株式会社 SANNEXAS【卸売業/営業職(総合職)】、TBC グループ株式会社【生活関連サービス業/サービス職】、株式会社 WEGO【小売業/販売職】、株式会社アイ・エス・ディ【情報通信業/技術職】、アイングループ（アイン薬局）【小売

業/事務職】、暁産業株式会社【卸売業/事務職】、あんしん保証株式会社【金融業/事務職】、いすゞ自動車近畿株式会社【卸売業/営業職(総合職)】、株式会社一蔵【生活関連サービス業/営業職(総合職)】、井上株式会社【卸売業/営業職(総合職)】、岩手県【公務/事務職】、株式会社ウエハラ【卸売業/事務職】、うえほんまち歯科【医療業/事務職】、株式会社エリッツホールディングス【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社エリッツホールディングス【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社エリッツホールディングス【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社エルアイシー【不動産業/営業職(総合職)】、大阪市【公務/事務職】、大塚産業クリエイツ株式会社【製造業/事務職】、岡三証券株式会社【金融業/営業職(総合職)】、男前豆腐店株式会社【製造業/事務職】、関西フローズン株式会社【卸売業/営業職(総合職)】、木下工業株式会社【製造業/事務職】、きばやし歯科【医療業/事務職】、京セラ株式会社【製造業/事務職】、京セラ株式会社【製造業/事務職】、京セラコミュニケーションシステム株式会社【情報通信業/技術職】、京都岡本記念病院【医療業/事務職】、株式会社京都銀行【金融業/営業職(総合職)】、株式会社京都銀行【金融業/営業職(総合職)】、京都市【公務/事務職】、京都生活協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、京都生活協同組合【協同組合等/営業職(総合職)】、株式会社京都東急ホテル【宿泊業/サービス職】、株式会社京都東急ホテル【宿泊業/サービス職】、京都日産自動車株式会社【小売業/営業職(総合職)】、京都北都信用金庫【金融業/営業職(総合職)】、京都北都信用金庫【金融業/営業職(総合職)】、株式会社きんそく【その他の事業サービス業/事務職】、株式会社きんそく【その他の事業サービス業/事務職】、株式会社きんそく【その他の事業サービス業/営業職(総合職)】、株式会社近鉄・都ホテルズ(都ホテル京都八条)【宿泊業/サービス職】、株式会社近鉄・京都ホテルズ【宿泊業/サービス職】、クオール株式会社【小売業/事務職】、株式会社クスリのアオキ【小売業/営業職(総合職)】、株式会社クスリのアオキ【小売業/営業職(総合職)】、株式会社クスリのアオキ【小売業/事務職】、株式会社クスリのアオキ【小売業/営業職(総合職)】、株式会社グッドワークコミュニケーションズ【人材サービス業/事務職】、株式会社グラート(賃貸住宅サービス)【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社グラート(賃貸住宅サービス)【不動産業/営業職(総合職)】、京福電気鉄道株式会社【運輸業/機械運転職】、公成建設株式会社【建設業/技術職】、晃和株式会社【卸売業/営業職(総合職)】、株式会社ゴードーキコー【製造業/製造職】、株式会社コスモス薬品【小売業/営業職(総合職)】、湖東信用金庫【金融業/事務職】、小西医療器株式会社【卸売業/事務職】、株式会社コプロホールディングス【人材サービス業/技術職】、株式会社コプロホールディングス【人材サービス業/営業職(総合職)】、コマネー株式会社【製造業/営業職(総合職)】、株式会社コンテック【製造業/営業職(総合職)】、サービス&セキュリティ株式会社【情報通信業/技術職】、サービス&セキュリティ株式会社【情報通信業/技術職】、株式会社さとう【小売業/営業職(総合職)】、株式会社澤村【建設業/事務職】、株式会社三光機工【卸売業/事務職】、株式会社三条工務店【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社三笑堂【卸売業/事務職】、株式会社三笑堂【卸売業/事務職】、株式会社三東工業社【建設業/事務職】、三陽工業株式会社【人

材サービス業/製造職】、三和管工株式会社【建設業/技術職】、三和管工株式会社【建設業/技術職】、株式会社ジェイ・エス・ビー【不動産業/営業職(総合職)】、しがぎんビジネスサービス株式会社【金融業/事務職】、しがぎんビジネスサービス株式会社【その他の事業サービス業/事務職】、滋賀中央信用金庫【金融業/事務職】、滋賀中央信用金庫【金融業/事務職】、シミズ薬品株式会社【小売業/事務職】、城陽市【公務/事務職】、株式会社スギ薬局【小売業/事務職】、株式会社スギ薬局【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スギ薬局【小売業/事務職】、株式会社スズキ自販京都【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スズキ自販京都【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スズキ自販京都【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スズキ自販京都【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スズキ自販京都【小売業/営業職(総合職)】、株式会社スタイルアジアインベスター【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社スタンディングポイント【小売業/技術職】、住友生命保険相互会社【金融業/営業職(総合職)】、株式会社誠心堂【小売業/営業職(総合職)】、株式会社クスリのアオキ【小売業/営業職(総合職)】、社会福祉法人清和園【福祉業/介護職】、株式会社セイワ工業【製造業/事務職】、セーレン株式会社【製造業/事務職】、総合メディカル株式会社【小売業/事務職】、第一生命保険株式会社【金融業/営業職(総合職)】、株式会社大黒商会【卸売業/営業職(総合職)】、株式会社大黒商会【卸売業/事務職】、大黒天物産株式会社【小売業/営業職(総合職)】、ダイハツ工業株式会社【製造業/製造職】、株式会社ダイハツビジネスサポートセンター【卸売業/営業職(総合職)】、大和リビング株式会社【不動産業/営業職(総合職)】、株式会社タカラレンタックスグループHD【不動産業/営業職(総合職)】、武田病院グループ【医療業/事務職】、たんぼぼ薬局株式会社【小売業/事務職】、有限会社ちきりや茶舗【小売業/販売職】、株式会社チャーム・ケア・コーポレーション【福祉業/介護職】、株式会社長栄【不動産業/営業職(総合職)】、テクバン株式会社【情報通信業/技術職】、テレポートグループ【小売業/販売職】、株式会社電算情報技研【情報通信業/技術職】、東洋証券株式会社【金融業/営業職(総合職)】、トナミ運輸株【運輸業/事務職】、株式会社富山第一銀行【金融業/営業職(総合職)】、トヨタカローラ滋賀株式会社【小売業/営業職(総合職)】、トヨタカローラ滋賀株式会社【小売業/事務職】、トヨタカローラ滋賀株式会社【小売業/営業職(総合職)】、株式会社トヨタレンタリース京都【物品賃貸業/営業職(総合職)】、中島商事株式会社【電気・ガス・熱供給・水道業/営業職(総合職)】、夏原工業株式会社【製造業/事務職】、日東精工株式会社【製造業/事務職】、株式会社日本ケイテム【人材サービス業/製造職】、日本情報産業株式会社【情報通信業/技術職】、株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター【その他の事業サービス業/事務職】、日本レストランシステム株式会社【飲食サービス業/サービス職】、長谷川歯科医院【医療業/事務職】、ハッポー化学工業株式会社【製造業/営業職(総合職)】、株式会社パル【小売業/販売職】、株式会社日立建機ティエラ【製造業/事務職(総合職)】、株式会社ヒューマンアイズ【人材サービス業/製造職】、枚方信用金庫【金融業/営業職(総合職)】、株式会社フェイスグループ【小売業/営業職(総合職)】、株式会社吹上技研コンサルタント【その他の事業サービス業/事務職】、株式会社プレサンスコーポレーション【不動産業/事務職】、株式会社ブ

レサンスコーポレーション【不動産業/事務職】、株式会社ブロンコビリー【飲食サービス業/サービス職】、株式会社平和堂【小売業/営業職(総合職)】、株式会社ホテルプリンセス京都【宿泊業/サービス職】、株式会社マジオネット【教育業/事務職】、株式会社松井旅館本館【宿泊業/サービス職】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、株式会社マツモト【小売業/営業職(総合職)】、ムラテックフロンティア株式会社【その他の事業サービス業/サービス職】、明治安田生命保険相互会社【金融業/営業職(総合職)】、明治安田生命保険相互会社【金融業/営業職(総合職)】、明治安田生命保険相互会社【金融業/営業職(総合職)】、株式会社明豊建設【建設業/技術職】、宗教法人八坂神社【宗教/事務職】、株式会社ユーエム工業【製造業/製造職】、ゆう薬局グループ(ゆう薬局)【小売業/事務職】、ゆう薬局グループ【小売業/事務職】、株式会社四電工【建設業/技術職】、洛和会ヘルスケアシステム【福祉業/事務職】、ラコステジャパン【小売業/販売職】、株式会社リソースクリエイション【専門・技術サービス業/営業職(総合職)】、株式会社レッドバロン【小売業/営業職(総合職)】、ロジスティード西日本株式会社【運輸業/営業職(総合職)】、ロジスティード西日本株式会社【運輸業/営業職(総合職)】、株式会社ワールドインテック【人材サービス業/製造職】、社会福祉法人和悦会【福祉業/介護職】、社会医療法人若弘会【医療業/事務職】、ワタキューセイモア株式会社【卸売業/事務職】、ワタキューセイモア株式会社【卸売業/事務職】

2) 編入学

神戸大学【経済学部】、香川大学【経済学部】、香川大学【経済学部】、香川大学【経済学部】、高崎経済大学【地域政策学部】、下関市立大学【経済学部】、同志社大学【商学部】、関西大学【総合情報学科】、関西大学【総合情報学科】、龍谷大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経営学部】、京都産業大学【経済学部】、京都産業大学【経済学部】、関西外国語大学【英語国際学部】、関西外国語大学【英語国際学部】、大阪経済大学【経営学部】、大阪経済大学【経営学部】、大阪経済大学【経営学部】、神戸学院大学【経営学部】、神戸学院大学【経営学部】、桃山学院大学【法学部】、桃山学院大学【法学部】、桃山学院大学【経済学部】、桃山学院大学【経済学部】、桃山学院大学【経営学部】、桃山学院大学【ビジネスデザイン学部】、桃山学院大学【ビジネスデザイン学部】、追手門学院大学【経済学部】、追手門学院大学【経済学部】、追手門学院大学【経済学部】、追手門学院大学【経営学部】、追手門学院大学【経営学部】、大阪産業大学【経営学部】、京都外国語大学【国際貢献学部】、京都文教大学【総合社会学部】、京都文教大学【総合社会学部】、大阪学院大学【経営学部】、大阪経済法科大学【経営学部】

(5) 今後の課題について

- ・本学のポジショニングの明確化と実現に向けた全学的な取り組み
- ・短大の将来を見据えた能力開発と人材確保
- ・学内システムのセキュリティ対策強化
- ・FD について教育力向上に向けた取り組み
- ・IR 機能を推進し、データに基づいた分析と戦略

(6) その他

1) 教育活動

- ・通常授業
前期、後期ともに、法令で定められた授業数を実施した。
- ・特別授業
長期休暇等を利用し簿記等資格取得対策講座や進路対策講座等を実施した。
- ・定期試験
前期、後期ともに、滞りなく実施した。
- ・ゼミナール活動
研究・発表・討論等を行なうゼミナールを、校外活動、地域連携、フィールドワーク等、様々な形式で実施した。また12月には、全学生参加によるゼミナール研究発表会を以下の通り実施した。(発表順)

ゼミ名	発表テーマ
高阪ゼミ	競馬における前走距離と上がりタイムの関係
今橋ゼミ	オーバーツーリズムが京都市に与える影響
小島ゼミ	メンバーカラーがもたらす経済効果 ～カラーマーケティングが広まった背景を探る～
森崎ゼミ	エンターテインメント性を 取り入れた総合デザインの活動報告
加藤ゼミ	珈琲のサプライチェーン～小川珈琲と前田珈琲～
岡村ゼミ	コンビニエンスストアの利用者の特徴 ～各チェーン店による分析～
伏見ゼミ	キャッシュレス化の現状と展望について
植田ゼミ	今後のロングライフデザインについて — つくる責任 使う責任 —
佐藤ゼミ	新たな広告手段の確立
小路ゼミ	たけにょん chat ボット～受験生の質問にお答えします～
高橋ゼミ	経短のマネジメント～ブルー・オーシャン戦略の視点から～
プロジェクト 演習 (河口)	京都のオーバーツーリズム
プロジェクト 演習 (小島)	キャリアをデザインする

・京都明徳高等学校との連携事業

高短連携講義の実施

本学教員が専門分野を生かした内容でオムニバス形式の講義を行い、本学での講義の体験を通じて学問の理解、進路を考えるきっかけになるような機会とし、また生徒たちが自ら興味・関心領域の発見を見出すことに主眼を置いて実施した。

高短連携科目等履修生の受入

短大の正課科目である秘書実務検定対策講義や販売士検定対策講義も開放し多数の高校生が受講した。

2) 行事等

04月01日(月)	入学式、オリエンテーション
04月02日(火)	オリエンテーション、避難訓練、履修登録
04月03日(水)	履修登録、ふるさと会、留学生交流会
04月04日(木)	前期授業開始
04月10日(水)	特待生集会
05月01日(水)	スポーツ大会①
05月03日(祝)	オープンキャンパス
05月09日(木)	健康診断
05月15日(水)	スポーツ大会②
05月18日(土)	同窓会総会
05月25日(土)	教育後援会総会
06月15日(土)	日本語検定
06月16日(日)	オープンキャンパス
07月21日(日)	オープンキャンパス
07月26日(金)	前期定期試験 8月1日まで
08月18日(日)	オープンキャンパス
08月22日(木)	ハラスメント研修会
09月07日(土)	入試説明会
09月14日(日)	入試
09月19日(木)	前期 卒業証書・学位記授与式
09月28日(土)	同窓会外部研修(神戸)
10月22日(火)	奨学金授与式
10月26日(土)	入試(午前)、秋華祭準備(午後)
10月27日(日)	秋華祭
11月16日(土)	入試
11月23日(土)	教育後援会外部研修(京都府北部)

1 2 月 0 7 日 (土)	入試
1 2 月 1 4 日 (土)	保護者保証人様対象説明会
1 2 月 1 9 日 (木)	ゼミナール研究発表会
0 1 月 2 3 日 (木)	シラバス F D
0 1 月 3 0 日 (木)	定期試験開始 2 月 5 日まで
0 2 月 0 8 日 (土)	入試
0 2 月 2 2 日 (土)	入試
0 3 月 1 3 日 (木)	入試
0 3 月 1 4 日 (金)	卒業証書・学位記授与式、卒業を祝う会
0 3 月 2 3 日 (日)	オープンキャンパス
0 3 月 2 4 日 (月)	入試

3) 学生指導・支援活動

- ・コース・ユニット制の円滑な運用を進めた。
- ・学生の実態把握に努め、問題点の見直し・改善を図った。
- ・進路指導について、教員・職員で、対面指導により生活指導面も含めてきめ細かに対応した。編入学対策としては、編入対策科目等において指導を行った。加えて、編入予備校との連携により対策講座も実施した。
- ・学生相談室でのカウンセラー面談の一層の充実を図った。

4) 研究活動

- ・教員の授業力向上に寄与させるべく前期・後期に講義アンケートを実施した。
- ・研究紀要『京都経済短期大学論集』を発行することで研究発表の場を確保した。
- ・経営・情報学会を通じて研究会を開催し、専任教員および特任講師による研究報告会を年2回実施した。

氏名	テーマ
今橋 裕	日本製造業における B to B 率及び研究開発多角化と収益性の関連性分析
植田憲司	メディアテクノロジー環境におけるメディア表現に関する研究
岡村靖人	社会的認知, 学校適応
加藤 康	サプライチェーンにおける倉庫の機能
河口和範	グローバル・バリュー・チェーンの進捗度とその影響
高阪勇毅	編入学試験対策としてのマクロ経済学指導法
小島理沙	食品廃棄物、プラスチック製廃棄物の資源循環
近藤汐美	人的資本の認識と測定可能性に関する研究ーマルチレベル・モデルを視座としてー
小路真木子	画像分析ツールの開発
高橋和志	ネットワーク組織
高橋 弘	大学生の英語教育と 4 技能を統括した実践英語力の向上

伏見康子	簿記会計教育に関する研究
森崎巧一	情報デザインおよび感性の研究
片山康彦	短大における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合

[学術論文]

氏名	論文等の名称
今橋 裕	①近年の米国企業における研究開発・設備投資と収益性の実証分析【『日本経営システム学会誌 Vol.41 No.2 pp.99-104 (2024 年度)】 ②米国企業の研究開発・設備投資と収益性の実証分析【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】 ③伝統産業における海外ブランドとの融合に関する事例研究—西陣連合青年会におけるケイパビリティ—【第 73 回 日本経営システム学会全国研究発表大会（場所：広島・広島工業大学）(2024 年度)】
植田憲司	①展覧会レポート「IAMAS ARTIST FILE #10 繭／COCOON 技術から思考するエコロジー」【情報科学芸術大学院大学ウェブサイト】 ②タイムベースト・メディア作品とコンサヴァターの役割（3）【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
岡村靖人	①The effects of money priming on risk-taking behavior【European Journal of Management and Marketing Studies】 ②短期大学生の学校適応と職場不安，ソーシャルスキルとの関連【日本人間関係学会第 32 回大会，高知大学】 ③身体温度感覚と言語表現【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
加藤 康	ロジスティクスの動向【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
河口和範	リープフロッグと開発途上国【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
高阪勇毅	①「東証の PBR 改善要請と人的資本」【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】 ②「株式分割バブルと投資家期待の膨張メカニズム」指定討論者【日本金融学会 2024 年度秋季大会】 ③「個人投資家の選好、金融リテラシーとリスク資産投資 — 個票データによる分析 —」指定討論者【2024 年度日本ファイナンス学会秋季研究大会】

小島理沙	①廃棄物の発生抑制効果の定量分析レビュー【オペレーションズ・リサーチ誌 3月号特集】 ②フードドライブとは？【SDGs ACTION! (朝日新聞) WEB 記事】 ③食品リサイクル法とは？【SDGs ACTION! (朝日新聞) WEB 記事】 ④サーキュラーエコノミーと ICT【月刊廃棄物 7月号】 ⑤食品ロス・廃棄物対策の次のステージは？【月刊廃棄物 10月号】 ⑥3R すべてを一括実践する取り組み【月刊廃棄物 11月号】
小路真木子	画像類似度マッピングツールの開発【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
高橋和志	市場と組織の中間概念について【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
高橋 弘	心に響く伝える力の養成（日本語と英語）【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
伏見康子	①考えて学ぶための会計教育【京都経済短期大学論集】 ②サステナビリティの時代における会計教育【日本会計研究学会 第 74 回関西支部会 統一論題報告於：神戸学院大学】 ③サステナビリティと会計【京都経済短期大学経営・情報学会研究報告会】
森崎巧一	①トイドローンと Scratch を用いたエデュテインメント【京都経済短期大学・情報学会研究報告会】 ②画像類似度マッピングツールの開発【京都経済短期大学・情報学会研究報告会】

[外部研究資金獲得] (競争的資金獲得)

氏名	研究テーマ (代表研究者名)	研究項目 (文科省科研費等)
高阪勇毅	①現先間裁定関係による市場効率性の計測 (研究代表者：高阪勇毅) ②軍事リスク問題の経済学的解明：日本とイスラエルの比較分析 (研究代表者：筒井義郎)	文科省科研費基盤研究 (C) 国際共同研究加速基金 (海外連携研究)
森崎巧一	印象評価と画像解析を用いたデザイン画像の独創性分析とその可視化システムの開発	文科省科研費基盤研究 (C)

[公的委員会]

氏名	内容
今橋 裕	大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 招へい教員（2019年5月～継続中）
植田憲司	①第19回京都現代写真作家展実行委員（京都府） ②京都府 職員ふれあいフェスタ 2024（写真の部）審査員（京都府） ③京都府立京都学・歴彩館「海外若手研究員受入事業」意見聴取協力者（京都府）
河口和範	法務省委嘱 京都市西京保護区 保護司（非常勤国家公務員）
小島理沙	①伊丹市廃棄物減量等推進審議会 会長 ②豊中市廃棄物減量等推進審議会 会長 ③姫路市環境審議会委員 ④姫路市新美化センター整備基本計画検討委員会委員 ⑤姫路市農林水産環境局指定管理者選定委員会委員 ⑥大阪府環境審議会委員 ⑦堺市廃棄物減量等推進審議会委員 ⑧京都市廃棄物処理施設設置等検討会議 委員 ⑨神戸市環境保全審議会委員 ⑩明石市環境審議会委員 ⑪大阪市廃棄物減量等推進審議会委員 ⑫高槻市廃棄物減量等推進審議会委員 ⑬豊中市環境審議会 委員 ⑭日本包装学会編集委員会委員
高橋和志	株式会社 ZTV 放送番組審議会 議長

[学術団体の理事]

氏名	団体名等
植田憲司	日本記号学会 理事
小島理沙	日本包装学会 理事

[講演会]

氏名	活動・講演の概要
植田憲司	①京都芸術大学大学院特別講義「占領期の京都を写した撮影者たち」講演者（2024年12月2日、京都芸術大学、佐藤博一教授担当「芸術文化論特論」） ②ワークショップ「カメラ・オブスキュラをつくろう」講師（京都文化博物館「カナレットとヴェネツィアの輝き」展関連イベント、2025年3月22日、京都文化博物館）

小島理沙	Economics of waste and solution from private sector JICA Program Design of Recycling System Monday, January 20, 2025, JICA Tokyo
伏見康子	大阪高等学校「進学前教育（外部連携講座）」において、「簿記会計入門」の講師として講義2回（2024年11月8日、11月26日、各日16:10～17:30）
森崎巧一	①イラスト作品展「意地悪なカーン猫展」開催、及びTV出演して解説 ②京都府社会人向けリカレント教育の講師 ③本年度の森崎ゼミの活動がTVで放送（森崎もTV出演して解説）

5) 管理・運営等

学長のリーダーシップのもと13回の定例教授会を開催した。さらにその調整機能を果たす執行部会も、各委員会や事務組織との連携を図りながら開催した。これにより、教育・研究活動が円滑に進んだ。

[各委員会組織名]

教授会、執行部会、人事委員会、教学委員会、募集入試委員会、就職委員会、図書・学会委員会、自己点検・認証評価委員会、システム運用委員会、留学生委員会（教学委員会に包括）、ハラスメント防止委員会、洛西・地域研究センター

6) 施設設備等の整備

- ・情報システムに係る脆弱性を確認し改善を行った。
- ・大講堂および大教室の屋根の耐震工事を行った。

3. 京都明德高等学校

(1) 当該年度の事業概要について／今後の課題

2020年3月から猛威をふるったコロナ禍により、過去3年間は何かしらの規制がある中での教育活動であった。はじまった2024年度は、年間を通して規制がなく、いわゆる当たり前のことが当たり前にできる通常の教育活動を年間通して実施することができた。体育祭・学園祭は、コロナ禍以前よりも、生徒のみならず教員も主体的に取り組む姿が見られた。学校全体が、3年間の葛藤を取り払うかのごとく、前を向いて進んだ1年となった。

今年度の進路状況の特筆すべき点は、4年制大学志向に拍車がかかった点である。昨年度、過去最高の割合55%が、65.5%と10ポイントも上昇した。背景には、3年間のキャリア教育がある。明德キャリア教育「大学スカラシップ」に全コースを参加させ、早い段階から4年制大学への意識付けが功を奏した。この良い影響は、安易に早く進路先を決定する傾向にある専門学校にも波及し、23.1%から15.1%へと減少という結果をもたらした。難関大学への合格状況については、特進・文理・総合・商業と全コースから、同志社大学に合格者を輩出するという例年にない傾向が見られた。同志社大学への合格数も、8から12へと上昇している。今年度の1年生EL（特進）コースより、習熟度別クラス編成を実施し、細分化したきめ細かな進路指導・教科指導を展開している。その成果は、確実に見られ、発展クラスについては、過去の特進クラスの模試偏差値において、最高のクラス平均となっている。過去最高の合格実績を出すというスローガンのもと、特進クラスの新規プログラムは順調にスタートすることができた。

みらい社会SLコースが誕生して2年が経過した。初年度でのノウハウを蓄積した今年度は、様々な課外活動を展開することができた。詳細については、以下を参照して頂きたい。次年度は、いよいよ3学年が揃う年となり、また、はじめての卒業生を送り出すことになる。確実な進路保障を目指し、スポーツマネジメント系の大学との高大連携・学部連携を昨年以上に積極的進めた。在籍する生徒の満足度を高めるため、引き続き、進路部を中心に新規大学の開拓に努める。

部活動においては、ダンス部が第1回のオーストラリアの国際大会において、優勝を勝ち取った。創部3年目のバドミントン部も、主要な府下大会においては、すべて優勝し、インターハイ、国体、全国選抜と全国大会へと出場している。全国私学大会においては、初の第8位を収めており、高体連主催の全国大会での上位進出が期待される。

高校の授業料無償化について、今年（2025年）4月から公立・私立を問わず一律に年間11万8800円の就学支援金の所得制限を撤廃し公立高校を実質的に無償化した。また、来年（2026年）4月から私立高校を対象に加算されている就学支援金の上限額の所得制限を撤廃し、私立の全国平均の授業料である45万7000円に引き上げる方向性が示された。京都府においても、公立高校における統廃合の議論が開始される装いである。われわれ私学には間違いなく追い風と考えられるが、当然、公立高校の特色化は加速すると予想される。つまり、いよいよ本格的な人口減少により、生徒の獲得競争がはじまったといえる。本校としては、普通科の進学というレッドオーシャンと

同時に専門学科のブルーオーシャン戦略を短期・中期・長期にわたり計画し、特色ある魅力ある学校づくりを展開していきたい。

【整備】

- ◆体育館空調システム
- ◆ホームルーム教室床絨毯化

【キャリア教育】

- ◆1・2年：次世代型キャリア教育（総合的な探求）
- ◆1・2年：企業人による講演
- ◆進路ガイダンス
 - 1年：職業理解ガイダンス、進路部長ガイダンス
 - 2年：学問分野別説明会
 - 3年：進路部長ガイダンス、大学入試説明会
- ◆教育連携プログラム
 - 2・3年：京都経済短期大学「商業科&高短連携授業」
- ◆京都明德キャリアウィーク
 - インターンシップ→職業体験
 - スカラシップ→大学授業体験
- ◆就職プログラム
 - 進路相談、会社見学、マナー講座、履歴書・面接・内定者指導、入社前セミナー

【SL(スポーツマネジメント)コース課外活動】

- 2024. 06. 14 講演 関西大学会計専門職大学院 特別任用教授 池上しのぶ様〔公認会計士〕 『簿記とサムライ業の魅力』 ①②
- 2024. 06. 28 連携協定調印式 京都ハンナリーズ 運営会社 代表取締役社長 松島鴻太様／京都明德高等学校 校長 二宮庸介 ①②
- 2024. 06. 28 講演 京都ハンナリーズ 運営会社 代表取締役社長 松島鴻太様 『プロスポーツチームの地域での存在意義』 ①②
- 2024. 06. 28 講演 京都橘大学 入試広報課長補佐 村上雄亮様 『新設「スポーツ経営専攻」が目指すもの』 ①②
- 2024. 07. 05 講演 びわこ成蹊スポーツ大学 講師 明世熙様 『スタジアムビジネスについて』 ①②
- 2024. 07. 19 講演 京都市文化市民局市民スポーツ振興室スポーツ企画課長 水谷洋夫様 『スポーツを活かしたまちづくり』 ①
- 2024. 09. 13 校外活動 アシックス スポーツミュージアムの見学 ①
- 2024. 09. 13 校外活動 甲子園歴史館およびスタジアムツアー ①
- 2024. 09. 13 校外活動 大阪体育大学の施設見学（大学紹介含む）および施設体験 ②
- 2024. 09. 13 校外活動 大阪体育大学の授業体験 大阪体育大学 教授 手塚洋介様 『スポーツ心理学』 ②

2024. 09. 24 校外活動 京都ハンナリーズP R活動ボランティア 阪急洛西口駅前
開幕戦P R活動②
2024. 10. 11 校外活動 京都ハンナリーズ かたおかアリーナ（京都市体育館） ホー
ムゲーム前日設営準備①
2024. 10. 11 校外活動 アシックス スポーツミュージアムの見学①
2024. 10. 11 校外活動 甲子園歴史館およびスタジアムツアー①
2024. 10. 18 講演 先端科学大学 健康スポーツ学科長 特任教授 中川昭様 『京都
先端科学大学で学べる健康スポーツ』 ①②
2024. 10. 18 講演 株式会社B B A N D S B & C o. 代表取締役 大川慎一様
『J Dリーグ～世界最強の女子ソフトボールリーグ～』 ①②
2024. 10. 25 校外活動 J Dリーグ わかさスタジアム京都 設営準備①
2024. 11. 22 講演 大阪学院大学 経営学部 教授 宮田将吾様 『リーダーシップと
フォロワーシップ』 ①②
2024. 12. 10 校外活動 京都ハンナリーズ かたおかアリーナ（京都市体育館） ホー
ムゲーム前日設営準備①
2024. 12. 12 講演 スポーツコミュニケーション KYOTO 株式会社 代表取締役社長 松
島鴻太様『プロスポーツクラブの役割と京都の未来への貢献』 ①②
2025. 01. 24 校外活動 京都ハンナリーズ かたおかアリーナ（京都市体育館） ホー
ムゲーム前日設営準備①
2025. 01. 31 校外活動 京都ハンナリーズ かたおかアリーナ（京都市体育館） ホー
ムゲーム前日設営準備①
2025. 02. 13 校外活動 京都マラソン 2025 事前ランナー受付準備ボランティア①
2025. 02. 14 講演 (株)サン・クロレラ ブランドコミュニケーションズ部 小林この
み様 『健康食品会社のスポーツビジネスへの挑戦』 ①
2025. 02. 14 講演 (株)サン・クロレラ 管理栄養士・アスリートフードマイスター
板津美奈子様 『健康食品会社が行うスポーツ栄養セミナーの裏話と実践
例』 ①
2025. 02. 14 講演 パリパラリンピックのカヌー日本代表として出場した夫を支える
管理栄養士①
2025. 02. 16 校外活動 京都マラソン 2025 当日給水係ボランティアおよび沿道盛り
上げ隊（ダンス部） ①②③
2025. 02. 21 講演 大阪経済大学 教授 相原正道様 [元東京五輪招致委員会事業部門
マネージャー] 『日本と世界のスポーツマネジメント』 ①②

【行事】

- 4 / 4 (木) 新入生登校日
5 (金) H R 担任研修会
9 (火) 始業式
1 0 (水) 入学式
1 2 (金) 新入生歓迎会

- 1 7 (水) 人権カウンセリング研修会、1年進路ガイダンス
- 1 8 (木) 交通安全教室、個人面談期間開始日 (5 / 3 1 まで)
- 5 / 1 (水) 花まつり
- 2 (木) 避難訓練
- 7 (火) 3年就職ガイダンス
- 9 (木) 2年遠足
- 1 0 (金) 1・3年遠足
- 1 3 (月) 公開授業 ※全教職員対象
- 1 4 (火) 3年保護者対象進路説明会
- 1 5 (水) 進学就職合同説明会
- 1 6 (木) 健康診断
- 2 2 (水) HRセミナー
- 2 3 (木) 育友会クラブ後援会総会
- 6 / 1 (土) 第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会
- 8 (土) 私学フェア (みやこメッセ)
- 9 (日) 私学フェア (みやこメッセ)
- 1 1 (火) 教育実習生反省会
- 1 4 (金) ~ 2 1 (金) 定期考査
- 1 9 (水) ロイロノート研修会
- 2 1 (金) 育友会社会見学 (大阪松竹座)
- 2 2 (土) 第1回オープンキャンパス
- 2 3 (日) 全商簿記実務検定
- 2 7 (木) 芸術鑑賞会
- 3 0 (日) 全商 ビジネス文書実務検定
- 7 / 3 (水) 塾対象説明会
- 5 (金) 見学相談ツアー
- 9 (火) 3年進学ガイダンス
- 1 1 (木) 3年就職ガイダンス
- 1 3 (土) 第2回オープンキャンパス
- 1 7 (水) 3年就職セミナー
- 2 2 (月) 終業式
- 2 3 (火) ~ 全学年保護者会
夏期講習会
- 8 / 3 (土) 大阪旭広告社 入試説明会
- 2 0 (火) 就職相談・受験企業校内選考
- 2 1 (水) 合同面接指導 (就職企業決定生徒対象)
- 2 4 (土) 第3回オープンキャンパス
- 2 5 (日) 山科高校入試説明会
- 2 6 (月) 始業式
- 3 1 (土) 私立中高展

- 9 / 1 (日) 私立中高展 (みやこめっせ)
 茨木高槻個別入試相談会 (高槻現代劇場)
- 8 (日) 全商 英語検定
- 14 (土) オープンキャンパス
- 15 (日) 第16回フォーラム「挑戦する私学」
- 17 (火) 就職試験開始
- 22 (日) 全商 情報処理検定
- 23 (月・祝) 大阪塾進学個人相談会
- 28 (金)・(土) 学園祭
- 10 / 1 (火) 大阪第一学区東ブロック中学校合同説明会
- 10 (木) 1年保護者対象進路説明会
- 11 (金) 2年保護者対象進路説明会
- 12 (土) 第5回オープンキャンパス
- 13 (日) 私学教育研究大会
- 16・17 明德キャリアウィーク
- 20 (日) 私学振興京都大会
- 21 (月) 第2回見学相談ツアー
- 22 (火) お会式
 創立記念奨学金授与式
- 23 (水) 創立記念日 明德学園研修懇親会
- 26 (土) 大阪朝日広告社 入試相談会
- 28 (月) 第3回見学相談ツアー
- 29 (火) HRセミナー
- 11 / 1 (金) 1・2年 秋遠足
- 9 (土) オープンキャンパス
- 10 (日) 全商 ビジネス計算実務検定
- 11 (月)～15 (金)
 定期考査
- 22 (金) 見学相談ツアー
- 24 (日) 全商 ビジネス文書実務検定
- 28 (金) 見学相談ツアー
- 30 (土) 私立中高入試相談会 (京都ガーデンパレス)
- 12 / 3 (火) 育友会社会見学
- 6 (金) 新2年PL (文理クラス) 保護者対象説明会
- 7 (土) オープンキャンパス⑥
- 14 (土) 個別入試相談会
- 16 (月) 人権学習
- 17 (火) 1・2年 保護者個別懇談会
- 20 (金) 終業式
- 23 (月)～ 冬期進学講座

- 1 / 8 (水) 始業式・降誕会・涅槃会
 15 (水) 修学旅行 結団式
 18 (土)・19 (日) 大学入学共通テスト
 20 (月) 私立就職対策協議会
 15 (月)～24 (水) 入試願書受付期間
 19 (日) 全商 情報処理検定
 26 (日) 全商 簿記実務検定
 27 (月)～31 (金) 修学旅行 ※A団：27～30 B団：28～31
 24 (水)～26 (金) 3年学年末考査
- 2 / 2 (日) 全商 商業経済検定
 7 (金) 全日 入試準備 ※生徒自宅学習日
 10 (月) 令和7年度入学試験 A日程
 11 (火) 令和7年度入学試験 B日程
 18 (火) 修学旅行解団式
 21 (金) 1. 5次入試
 28 (金) 卒業式 予行演習
 学年末考査 ～3 / 7 (金)
- 3 / 3 (月) 卒業証書授与式、感謝のタペ
 19 (水) 修了式
 春期進学講座期間スタート

【部活動】

◆ソフトボール部

- ・京都府春季大会（市内女子） 第3位 ※インターハイ予選シード権獲得
- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第3位
- ・国民スポーツ大会近畿予選 優勝 ※全国大会（本戦）出場決定
 3年 後田真夢 3年 齊藤杏奈
- ・第44回京都府高校選手権 兼 京都府下新人大会 第3位

◆ダンス部

- ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会 関西大会
 HipHop 男女混成 Large 第2位 ※全国大会出場権
- ・京都私学振興会賞 文化スポーツ活動賞Ⅰ 受賞
 受賞理由 ➡国際大会優勝、アジア大会優勝、全国大会部門優勝・総合第2位
- ・全国高校ダンスドリル選手権大会 2024
 Miss Dance Drill Team Japan Competition 2024
 HipHop 男女混成 large 編成 準優勝
 団体総合 第3位 ※朝日新聞社賞、国際大会日本代表認定
- ・AUSSIE GOLDS International ChampionShips 2024
 オーストラリアゴールドコースト
 Secondary HipHop 優勝 & GLAND CHAMPION SCHOLASTIC

- ・令和6年度ダンスドリル秋季競技大会関西大会
HIPHOP 男女混成 Large 編成 優勝 ※ウインターカップ 2025 出場決定
- ・全国高等学校ダンスドリル冬季大会 Winter Cup2025
Hiphop 部門男女 Large 編成 優勝
団体総合 優勝 ☆2連覇
朝日新聞社賞
- ・Performanc Cheer Grand Final
Hiphop 部門 高校編成 優勝

◆バドミントン部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選
学校対抗 優勝 ※全国大会出場
シングルス 優勝 坪井 陽菜（3年） ※全国大会出場
準優勝 高木 杏奈（2年） ※全国大会出場
第3位 柳 杏優（3年） 第3位 岡本 芽（2年）
ダブルス 優勝 坪井 陽菜（3年）・中島 萌（3年） ※全国大会出場
準優勝 岡本 芽（2年）・大平 彩詠（1年） ※全国大会出場
- ・第78回国民スポーツ大会バドミントン競技会京都府予選会
シングルス 優勝 高木杏奈（2年）
準優勝 岡本 芽（2年） 第3位 柳杏優（3年）
ダブルス 優勝 坪井陽菜（3年）・中島萌（3年）
準優勝 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
- ・JOCジュニアオリンピック京都府予選会
シングルス 優勝 高木杏奈（2年）
準優勝 岡本 芽（2年） 第3位 大平彩詠（1年）
ダブルス 優勝 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
準優勝 大平彩詠（1年）・高木杏奈（2年）
- ・第43回全日本ジュニア選手権大会 出場
シングルス 高木杏奈（2年）
ダブルス 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
- ・近畿高等学校バドミントン選手権大会京都府予選
シングルス 優勝 高木杏奈（2年）
準優勝 大平彩詠（1年）
第3位 岡本 芽（2年） 第4位 黒岩希々（1年）
ダブルス 優勝 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
第3位 大平彩詠（1年）・高木杏奈（2年）
- ・近畿高校選手権大会
シングルス ベスト8 高木杏奈（2年）
ベスト16 大平彩詠（1年）
ダブルス ベスト16 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
大平彩詠（1年）・高木杏奈（2年）

- ・第29回 全国私立高等学校選抜バドミントン大会 団体戦 第8位
- ・2024 THE MALL THAILAND BADMINTON CHAMPIONSHIP
ダブルス 第3位 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
- ・第53回全国高等学校選抜バドミントン大会近畿地区予選
学校対抗 第3位
ダブルス 第3位 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
シングルス 第3位 高木杏奈（2年）
☆学校対抗・ダブルスで近畿代表校として全国選抜大会への出場決定
- ・京都府高等学校バドミントン新人大会
学校対抗 優勝
シングルス 優勝 高木杏奈（2年）
準優勝 岡本 芽（2年）
第3位 小山心愛（2年）
ダブルス 優勝 岡本 芽（2年）・小山心愛（2年）
準優勝 大平彩詠（1年）・高木杏奈（2年）
- ・第53回全国選抜大会 石川大会 出場

◆剣道部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 **第3位（近畿大会出場）**
- ・第43回京都府高等学校剣道新人大会 団体 第3位
個人 ベスト8 滝澤ゆら（1年）ベスト16 辻 杏実（2年）
☆令和七年度滋賀県開催 国民スポーツ大会京都府候補選手指定 滝澤 ゆら
- ・令和6年度 全国高等学校選抜・近畿選抜 京都府予選
女子 団体 第3位 ※近畿大会出場権獲得
- ・令和6年度 私学総合体育大会 準優勝

◆男子バスケットボール部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト16
- ・京都府高等学校新人大会 ベスト16
- ・U18 京都リーグ1部 第5位
- ・第33回JC杯争奪ケイジャーズカップ 優勝

◆女子バスケットボール部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト16
- ・京都府高等学校新人大会 ベスト16
- ・U18 京都リーグ1部 第6位

◆吹奏楽部

- ・第32回マーチングバンド京都府大会 金賞
- ・第46回マーチングバンド関西大会 銀賞
- ・第23回マーチングステージ全国大会 第7位

◆珠算部

- ・第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会 京都府予選会
[団体 電卓] 優勝 ※全国大会出場

[個人 電卓] 第2位 水見明日香（3年） ※全国大会出場
 第3位 黒川 莉奈（3年） ※全国大会出場
 優良賞 津田 理郁（3年） ※全国大会出場
 [個人 珠算] 第3位 矢野 篤樹（3年） ※全国大会出場
 順位外 堀本 慎二（1年） ※全国大会出場

◆パソコン部

・第71回全国高等学校ワープロ競技大会京都府予選
 個人の部 矢野 篤樹（3年） 全国大会出場権獲得

◆簿記部

・第40回全国高等学校簿記競技大会 京都府大会
 [団体] 第3位
 [個人] 第3位 馬場先雪菜（3年） ※全国大会出場

◆ボーリング部

・全国高等学校総合体育大会 京都府予選
 第7位 武本 日向（1年） ※全国大会出場

(2) 「令和7年度入学試験」に関する状況

	1次		1.5次		合計	
	出願者数	合格者	出願者数	合格者	出願者数	合格者
EL<特進>	117	97	0	0	117	97
JL<準特進>	120	97	0	0	120	97
PL<普通>	415	428	4	1	419	429
CL<商業>	197	183	3	1	200	184
SL<スポマネ>	110	104	1	1	111	105
合計	959	893	8	3	967	895

(3) 令和6年度 卒業生状況

卒業生数： 278名（商業科 104名 / 普通科 174名）

[表彰]

日本私立中学高等学校連合会会長表彰 1名
 京都府私立中学高等学校連合会表彰 1名
 全国商業高等学校協会卒業生成績優秀者表彰 1名
 産業教育振興中央会会長賞 1名
 京都府産業教育振興会会長賞 1名
 京都府卒業生成績優秀者表彰 1名
 全国商業高等学校主催検定3種目以上1級合格者表彰 13名
 7種目 2名 6種目 1名 5種目 3名 4種目 3名 3種目 4名

(4) 進路状況

○4年制大学 合格者数 363

国公立 1・関関同立 22・産近甲龍佛 149 その他 191

○進路数

4年制大学 182 66% (55%)

京都経済短大 29 10% (9%)

短大 9 3% (5%)

就職 11 4% (5%)

専門 42 15% (23%)

その他 5 2% (3%)

※ () 内数字は昨年度のもの。

※就職は、20年連続、内定率100%達成。

※その他には、留学生・浪人生含む。

4. 京都成章高等学校

(1) 当該年度の事業の概要について

各クラスの学力向上に向けた作戦を共有するため、管理職、学年部長、担任、教科担当が参加するクラスミーティングを開き、教科バランスや授業内容、テスト、課題などについて意見を交換しながら、生徒にとって最善と思われる環境を目指した。特に、放課後進学講習については、昨年度と同じ講座を開講するのではなく、担任と教科担当が話し合い、各クラスの生徒のニーズに応じた講座を開講した。生徒が本校に1番求めている放課後の学習環境を維持するため、放課後質問対応教員を配置し、20時45分までは主要5教科の質問に対応できる環境を整えた。様々なタイプの自習室があるため、生徒はそれぞれ学習に励みやすい環境を選び、夜遅くまで学校で勉強している。

基礎力完成のため、昔行われていた午後テストを再開した。6限と7限の間に毎日テストをすることによって、生徒が確実に復習する機会を作る。教員の経験が浅くても、生徒の学力伸長を保証できるようなシステム構築を目指している。

生徒の多様化、入試形態の多様化に対応するため、企業に協力してもらい金融教育に取り組んだり、生徒が様々な留学生と交流できる機会を作ったりしている。MSクラスにおいては、各クラブから生徒がひとりずつ参加するリーダーミーティングを定期的開催し、MSクラスの課題や目標を話し合っている。大学入試を突破できる学力を重視しながらも、視野を広げて考える力を伸ばしたり、行動力を高めたりする取り組みを増やしている。

様々な取り組みが少しずつ実を結び始めており、大学合格率93.9%、国公立大学合格124名、関関同立合格290名を達成した。特にアカデミッククラスから46名の国公立合格が出たことは、生徒たちの入学時の学力を考えると、本校の「生徒を伸ばす力」が表れていると考えられる。

1) 教育

①授業

全日制課程

令和6年度も学則に定められた授業日数を確保し、すべての教科において定められた学習内容を終了できた。

通信制課程

令和6年度も、例年通りの年間18日のスクーリングを実施し、また定められたレポート添削指導を完了した。

②学校行事

令和6年度は、新型コロナウイルスへの対応が緩和されていくなか一年を通して、ほぼ従来通りの学校行事の実施を果たした。

4月 8日	第39回 入学式
12日	校外活動
25日	3年生「主権者教育」
5月14日	遠足
6月13・14日	文化祭

9月12．18．20日	芸術鑑賞
10月10日	体育祭
11月13日	球技大会（7日が雨天のため順延）
1月28日～	メディカルスポーツクラス スキー研修旅行出発 志賀高原スキー場
2月18日～	1年ASクラス・アカデミッククラス スキー研修旅行 白馬コルチナススキー場 2年生ASクラス・アカデミッククラス スキー研修旅行 タングラムスキー場
2月28日	第37回卒業証書授与式

③メディカルスポーツクラス集中講座

6月23日	「栄養学」第一回目（1年）
7月14日	「栄養学」第二回目（1年）
9月29日	「栄養学」第三回目（1年）
10月27日	「栄養学」第四回目（1年）
2月19日	「心理学」第一回目（2年）
2月20日	「心理学」第二回目（2年）
2月21日	「心理学」第三回目（2年）
2月22日	「心理学」第四回目（2年）

④進路指導関係

5月20．21．23．24．27日	3年生 保護者対象 進路説明会
6月19日	1年生 進路学習会
6月26日	2年生 進路学習会
7月16日	1年生 進路学習会
9月18．20日	1年生 学部学科ガイダンス
10月16日	2年生 進路学習会
10月15．17．18．21．22日	1年生 学級懇談会（文理選択について）
10月25．28．11月1．7．12．15日	2年生 保護者対象進路説明会
1月24日	3年生 国公立大学出願検討会
1月27．28．29日	3年生 国公立大学出願用三者面談
3月6．7日	2年生 立命館大学高大連携説明会

⑤生活指導関係

令和6年度もいじめ防止対策、薬物の危険性を中心にした生活指導に関する教育と自転車の安全運転に関する教育を重視し、外部講師を招いて生徒を対象に「いじめの問題」「薬物の危険性」「ネット利用の危険性」についての講演を行った。

4月22日	1年生 「ネットの危険性」
	2年生 「危険薬物について」
	西京警察署スクールサポーター
10月22日	1年生 「人権教育・進路学習について」
	佛教大学 原 清治 先生

⑥三者面談

担任による保護者と生徒を対象にした面談。特に一学期の学習状況等を総括し、希望進路や今後の学習計画等を相談。また保護者と担任との信頼関係の構築も目的の一つ。原則7月19日・22日・23日の三日間を実施日として三者面談を本校の各ホームルームで実施。

⑦進学講座

毎週、月・火・木・金の放課後に実施。原則1コマ45分を2講座。

⑧長期休暇中の教育活動

- ・春季休暇中・・・・春期講習の実施
- ・夏季休暇中・・・・夏期講習の実施
- ・冬期休暇中・・・・冬期講習の実施

⑨教育の管理

- ・学校評価の実施

2) 健康・安全管理関係

①学校衛生委員会の開催と充実

原則として毎月第四水曜日（16:45～）に、校長、副校長、教頭、衛生管理者、産業医、保健主事、養護教諭、教職員代表らによる、教職員の健康管理を目的とした「学校衛生委員会」を開催。以下は令和6年度に開催された衛生委員会での議題。

- 4月 令和6年度衛生委員会委員推薦等
- 5月 教職員健康診断に向けて
- 6月 教職員の熱中症対策について
- 7月 労災保険二次健康診断等給付について
- 8月 ストレスチェックの実施について、夏バテ対策について
- 9月 目の病気の早期発見について 秋バテチェックの結果について
- 10月 職場環境のアンケートの実施について インフルエンザの予防について
- 11月 衛生委員会アンケートの結果について
- 12月 教職員定期健康診断の結果報告
- 1月 花粉症について
- 2月 「変化」に対応 自律神経を整える
- 3月 令和6年度衛生委員会の年間まとめ

②教職員健康診断

6月27日

教職員対象健康相談

12月6日

③生徒の健康・安全管理

4月18・25日

生徒検尿

23日

生徒健康診断

5月20日

交通安全教室（西京警察署による講演と実演）

6月19日

自転車点検（クラスごと）

9月11・19日

クラブ員検尿

1月15日

1・2年生 スキー研修前内科検診

④避難訓練

5月22日に実施。

3) 教員の研究・研修及び協議会・フォーラム関係

5月12日

生徒指導研究会・教職員研修

私学会館

25日

学校保健研究会

立命館高等学校

7月 4・5日

救命救急講習会

本校

8日

保健体育研究会

京都橘高等学校

28日

生徒指導研究会

京都府警本部

31日

特例応急手当普及員講習

京都市消防学校

8月 2日

学校保健研究会（夏期研修）

京都精華学園中学高等学校

10月13日

私学研究大会

京都西山高等学校

11月9・10日

全国私学教育研究大会

J R ホテルクレメント高松

4) 部活動の主な戦績について

男子ラグビー部

第26回 全国高校選抜ラグビーフットボール大会

準優勝

女子ラグビー部

第7回 全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会

準優勝

サニックスワールドユース交流大会2024女子7人制

準優勝

剣道部

令和6年度京都府高校総体剣道競技男子団体の部

第3位

女子バレーボール部

令和6年度全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府予選会

第3位

バドミントン部

第75回全国高等学校バドミントン選手権大会京都府予選

男子 優勝

第75回全国高等学校バドミントン選手権大会

男子 出場
女子 第3位
男子ダブルス 第2位
第3位
女子ダブルス 第3位

2024年度京都府高等学校バドミントン新人大会

男子 第3位
男子ダブルス 第3位
女子ダブルス 第3位
女子シングルス 第4位

女子卓球部

第92回全国高等学校卓球選手権大会

シングルス 出場

女子ソフトテニス部

令和6年度京都府高等学校ソフトテニス選手権大会団体戦

第3位

写真部

第49回全国総文祭

出場

令和6年度京都高校写真連盟作品審査会

団体の部 第3位
個人の部 第2位

(2) 入学志願者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

令和7年度入試結果

(全日制課程)

	出願者数	T S クラ ス合格	A S クラ ス合格	アカデミ ークラス 合格	メディカルス ポーツクラス 合格	合格者計
専願・推 薦	3 2 5	1 6	7 9	1 1 0	1 1 4	3 1 9
併願	3 6 9	9 9	1 1 1	1 3 1※	2 7	3 6 8
合計	6 9 4	1 1 5	1 9 0	2 4 1	1 4 1	6 8 7

※T S・A S専願・A併願の合格者5名含む

(通信制課程)

3名受験 3名合格

全日制 365名入学

通信制 1名入学

(3) 卒業生数について(3月1日卒業証書授与式を挙る)

令和6年度 全日制課程卒業生 377名

通信制課程卒業生 29名

(4) 令和6年度卒業生進学状況

全日制課程 卒業生 377名

- ・ 四年制大学 335名
- ・ 短期大学 2名
- ・ 専門学校 9名
- ・ 海外留学 1名
- ・ 進学準備 27名
- ・ 就職 3名

通信制課程 卒業生 29名

- ・ 四年制大学 22名
- ・ 専門学校 1名
- ・ 進学準備 5名
- ・ その他 1名

Ⅲ 財務の概要について

学校法人明德学園の令和6年度決算書類は、改正前の私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に従って作成され、公認会計士の外部監査及び学園監事による内部監査を受けた後、令和7年5月23日の理事会及び5月30日の評議員会において審議、承認されたものである。

1. 主な計算書類

(1) 収支計算書の状況

ア) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを明らかにするための計算書類である。

資金収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,021,405,000	2,021,420,750	△ 15,750
手数料収入	42,402,000	45,439,600	△ 3,037,600
寄付金収入	15,718,000	15,719,291	△ 1,291
補助金収入	1,228,119,335	1,228,119,335	0
資産売却収入	20,409,000	20,409,250	△ 250
付随事業・収益事業収入	16,426,000	16,426,874	△ 874
受取利息・配当金収入	126,311,000	138,598,269	△ 12,287,269
雑収入	80,870,000	83,115,282	△ 2,245,282
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	416,864,000	457,868,170	△ 41,004,170
その他の収入	1,292,068,137	1,142,159,669	149,908,468
資金収入調整勘定	△ 566,841,380	△ 567,628,120	786,740
前年度繰越支払資金	3,623,174,875	3,623,174,875	
収入の部合計	8,316,925,967	8,224,823,245	92,102,722

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,898,815,640	1,895,505,124	3,310,516
教育研究経費支出	1,039,363,000	979,852,395	59,510,605
管理経費支出	177,807,000	170,293,327	7,513,673
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	62,389,000	62,387,820	1,180
設備関係支出	37,410,000	34,481,139	2,928,861
資産運用支出	439,774,000	138,973,090	300,800,910
その他の支出	1,375,503,037	1,164,369,111	211,133,926
〔予 備 費〕	(89,640)		
	9,910,360		9,910,360
資金支出調整勘定	△ 169,977,742	△ 168,803,255	△ 1,174,487
翌年度繰越支払資金	3,445,931,672	3,947,764,494	△ 501,832,822
支出の部合計	8,316,925,967	8,224,823,245	92,102,722

イ) 活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動区分に分けて、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための計算書類である。

活動区分資金収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 円)			
	科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,021,420,750
		手数料収入	45,439,600
		一般寄付金収入	592,401
		特別寄付金収入	12,400,000
		経常費等補助金収入	1,200,455,335
		付随事業収入	16,426,874
		雑収入	83,115,282
		教育活動資金収入計	3,379,850,242
	支出	人件費支出	1,895,505,124
		教育研究経費支出	979,852,395
		管理経費支出	170,293,327
教育活動資金支出計		3,045,650,846	
	差引	334,199,396	
	調整勘定等	13,874,210	
	教育活動資金収支差額	348,073,606	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	2,726,890
		施設設備補助金収入	27,664,000
		施設整備等活動資金収入計	30,390,890
	支出	施設関係支出	62,387,820
		設備関係支出	34,481,139
		減価償却引当特定資産繰入支出	100,000,000
		成章施設整備引当特定資産繰入支出	1,200,000
		施設整備等活動資金支出計	198,068,959
		差引	△ 167,678,069
		調整勘定等	△ 17,024,060
	施設整備等活動資金収支差額	△ 184,702,129	
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		163,371,477	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	有価証券売却収入	20,409,250
		退職給与引当特定資産取崩収入	33,159,270
		預り金受入収入	900,091,262
		小計	953,659,782
		受取利息・配当金収入	138,598,269
		その他の活動資金収入計	1,092,258,051
	支出	第3号基本金引当特定資産繰入支出	11,000,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	25,773,090
		経短後援奨学引当特定資産繰入支出	1,000,000
		預り金支払支出	893,266,819
		小計	931,039,909
		その他の活動資金支出計	931,039,909
		差引	161,218,142
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	161,218,142	
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		324,589,619	
前年度繰越支払資金		3,623,174,875	
翌年度繰越支払資金		3,947,764,494	

ウ) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の収支の状況を明らかにし経営成績を表すものである。

事業活動収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 円)

教育活動収支	収事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	2,021,405,000	2,021,420,750	△ 15,750
		手数料	42,402,000	45,439,600	△ 3,037,600
		寄付金	13,037,000	13,037,998	△ 998
		経常費等補助金	1,200,455,335	1,200,455,335	0
		付随事業収入	16,426,000	16,426,874	△ 874
		雑収入	86,561,000	88,806,367	△ 2,245,367
		教育活動収入計	3,380,286,335	3,385,586,924	△ 5,300,589
	支事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	1,897,121,640	1,893,810,029	3,311,611
教育研究経費		1,281,546,000	1,222,025,683	59,520,317	
管理経費		195,108,000	187,592,239	7,515,761	
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		3,373,775,640	3,303,427,951	70,347,689	
教育活動収支差額			6,510,695	82,158,973	△ 75,648,278
教育活動外収支	収事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	126,311,000	138,598,269	△ 12,287,269
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	126,311,000	138,598,269	△ 12,287,269
	支事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額			126,311,000	138,598,269	△ 12,287,269
経常収支差額			132,821,695	220,757,242	△ 87,935,547
特別収支	収事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	8,191,000	8,191,968	△ 968
		その他の特別収入	32,022,000	32,024,396	△ 2,396
		特別収入計	40,213,000	40,216,364	△ 3,364
	支事業の活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	6,702,000	6,699,300	2,700
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	6,702,000	6,699,300	2,700
特別収支差額			33,511,000	33,517,064	△ 6,064
〔予 備 費〕			(89,640)		
			9,910,360		9,910,360
基本金組入前当年度収支差額			156,422,335	254,274,306	△ 97,851,971
基本金組入額合計			△ 98,749,000	△ 98,748,088	△ 912
当年度収支差額			57,673,335	155,526,218	△ 97,852,883
前年度繰越収支差額			1,099,431,614	1,099,431,614	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			1,157,104,949	1,254,957,832	△ 97,852,883
(参考)					
事業活動収入計			3,546,810,335	3,564,401,557	△ 17,591,222
事業活動支出計			3,390,388,000	3,310,127,251	80,260,749

【資金収支計算書の主な科目の内容】

□収入の部

科目	備 考
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、学園充実費、教育充実費、施設維持費、実験実習費等のことで収入の大半を占める。
手数料収入	手数料の中心は入学検定料、その他各種証明書の発行手数料などである。
寄付金収入	用途指定のある特別寄付金と用途指定のない一般寄付金がある。
補助金収入	国庫補助金や京都府私学運営費補助金が中心で、学生生徒等納付金に次ぐ収入源である。
資産売却収入	有価証券等の売却による収入である。
付随事業・収益事業収入	生徒寮等の教育活動に付随する活動に係る事業の収入である。
受取利息・配当金収入	学園が保有する預金や有価証券等金融資産の受取利息が中心である。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入であるが、資金の収納が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定である。

□支出の部

科目	備 考
人件費支出	教職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費等である。
教育研究経費支出	奨学費、光熱水費、消耗品費、修繕費、旅費交通費、賃借料、印刷製本費、通信費等がある。
管理経費支出	学生生徒募集の広報費や学生生徒の寮関連経費、教職員の福利厚生費、法人業務に関する経費等がある。
施設関係支出	建物や構築物に支出した勘定である。
設備関係支出	教育研究用機器備品や管理用機器備品に支出した勘定である。
資産運用支出	将来の固定資産準備金、有価証券の購入や特定事業目的への繰入額となる「引当特定資産への繰入支出」が中心である。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出であるが、資金の支出が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定である。

【事業活動収支計算書の主な科目の内容】

□事業活動収入の部

科目	備 考
寄付金	資金収支の寄付金収入から施設設備に係る寄付金を除いた額である。
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金である。

資産売却差額	資産売却収入が帳簿価額を超える場合の超過額である。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄付、施設設備補助金などによる収入である。

□事業活動支出の部

科目	備 考
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額である。
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額である。
資産処分差額	資産を除却した際の除却額等である。

□基本金組入額

科目	備 考
基本金組入額合計	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計である。

(2) 貸借対照表の状況

「貸借対照表」は、期末における資産、負債、自己資金の状況を明らかにし、財政状態を表すものである。

貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,749,427,315	16,811,236,933	△ 61,809,618
有形固定資産	9,566,886,151	9,734,509,589	△ 167,623,438
特定資産	7,179,553,660	7,073,739,840	105,813,820
その他の固定資産	2,987,504	2,987,504	0
流動資産	4,915,056,336	4,662,196,883	252,859,453
資産の部合計	21,664,483,651	21,473,433,816	191,049,835
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	402,316,622	409,702,802	△ 7,386,180
流動負債	722,608,814	778,447,105	△ 55,838,291
負債の部合計	1,124,925,436	1,188,149,907	△ 63,224,471
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	19,284,600,383	19,185,852,295	98,748,088
第1号基本金	16,721,980,383	16,634,232,295	87,748,088
第2号基本金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
第3号基本金	1,345,620,000	1,334,620,000	11,000,000
第4号基本金	217,000,000	217,000,000	0
繰越収支差額	1,254,957,832	1,099,431,614	155,526,218
純資産の部合計	20,539,558,215	20,285,283,909	254,274,306
負債及び純資産の部合計	21,664,483,651	21,473,433,816	191,049,835

2. 当該年度の決算の概要について

ここでは、決算後の本学園の財政状態を確認すべく、その見方の説明を加えながら貸借対照表をみていく。

資産の部

財産の運用状況、つまり使い道のことであり、「固定資産」と「流動資産」に分かれる。校舎、グラウンド、体育館、情報機器、視聴覚機器、図書、マイクロバス等、明德学園の各学校が教育研究活動を進めていくために必要な施設・設備を「固定資産」と呼び、約167億円ある。また、経営に必要な資金として、現金預金、有価証券、未収入金等があり、これらを「流動資産」と呼び、約49億円ある。これらの資産の合計額、約216億円が学園の財産となる。

負債の部

負債の部においても、資産の部と同じように「固定負債」と「流動負債」とに分かれ、退職金、預り金など将来支払わなければならないものがここに含まれる。

純資産の部

純資産の部は、「基本金」と「繰越収支差額」とに分かれる。

「基本金」とは、学校法人が諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組み入れる金額のことである。「基本金」は第1号から第4号までに分かれており、第1号基本金は、資産の部にある有形固定資産を自己資金で取得した場合に組入れられるものである。第2号基本金は、施設計画等がある場合にその取得にむけて計画的に組入れられるもので、第1号基本金とともにハード面を目的とした基本金となる。一方、第3号基本金は、学園創立記念奨学基金や教育振興基金など学生生徒や教職員を支援していくために組入れられるソフト面の要素をもつ基本金であり、明德学園ではこの第3号基本金の充実を目指している。第4号基本金は、学校法人の運転資金の額とされている。

「繰越収支差額」とは、事業活動収支計算書の当年度収支差額の累積額である。

この純資産の部は、企業会計で言う資本の部に当たり、正味財産とも言える。本年度末時点において、正味財産が約205億円ある。

3. 主な施設設備の整備状況について

京都経済短期大学における大講堂および大教室の屋根の耐震工事、京都明德高等学校における体育館空調機器設備工事、京都成章高等学校における第2MS棟多目的室の設置などを実施し、学生生徒の学習環境の整備を進めている。

4. 財産目録

財産目録

(令和7年3月31日現在)

I 資産額	21,664,483,651 円
内 (1) 基本財産	9,569,203,655 円
(2) 運用財産	12,095,279,996 円
II 負債額	1,124,925,436 円
III 正味財産	20,539,558,215 円

科 目	年 度 末
I 資 産 額	
(1) 基 本 財 産	9,569,203,655 円
1 土 地	69,095.00 m ² 5,802,002,134 円
2 建 物	33,463.33 m ² 3,314,795,502 円
3 構 築 物	116,586,838 円
4 図 書	74,318 冊 183,075,354 円
5 備 品	20,615 点 145,285,803 円
6 そ の 他	7,458,024 円
(2) 運 用 財 産	12,095,279,996 円
1 現 金 預 金	3,947,764,494 円
2 そ の 他	8,147,515,502 円
合 計	21,664,483,651 円
II 負 債 額	
1 固 定 負 債	402,316,622 円
(1) 退職給与引当金	402,316,622 円
2 流 動 負 債	722,608,814 円
(1) 前 受 金	457,868,170 円
(2) そ の 他	264,740,644 円
合 計	1,124,925,436 円
III 正 味 財 産 (I - II)	20,539,558,215 円

5. 主な財務比率について

比率	算式	指標 (※1)	全国平均 (※2)	令和6年度
貸借対照表				
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	85.4%	77.3%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	14.6%	22.7%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	6.0%	1.9%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	4.6%	3.3%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	△	89.4%	94.8%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△	-24.9%	5.8%
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	95.5%	81.5%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	▼	89.5%	80.0%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	320.5%	680.2%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	10.6%	5.2%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	11.9%	5.5%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	564.5%	862.2%
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	55.5%	100.0%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	97.1%	100.0%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	～	58.1%	66.6%
事業活動収支計算書				
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	61.2%	53.7%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	110.4%	93.7%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	31.5%	34.7%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	11.8%	5.3%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.2%	0.0%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	-5.6%	7.1%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	▼	120.0%	95.5%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	55.4%	57.4%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金(※3)}}{\text{事業活動収入}}$	△	1.7%	0.5%
補助金比率	$\frac{\text{補助金(※4)}}{\text{事業活動収入}}$	△	30.0%	34.5%
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	12.0%	2.8%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	～	11.3%	7.9%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	-4.7%	6.3%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△	-8.2%	2.4%
活動区分資金収支計算書				
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△	2.7%	10.3%

※1 指標は「△：高い値がよい」・「▼：低い値がよい」・「～：どちらともいえない」を示す

※2 日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和5年度 短大法人の部より記載

※3 寄付金＝教育活動収支の寄付金＋特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付

※4 補助金＝経常費等補助金＋施設設備補助金